

礼拝について

2021年4月4日 復活日
奈良基督教会 牧師 司祭 古本 靖久

主のみ名を賛美いたします。

主のご復活、おめでとうございます。

4月1日に大阪府・兵庫県・宮城県の3府県に「まん延防止等重点措置」が出されました。また奈良県の新型コロナウイルス現在感染者数も急増し、300名を超えております。

当教会では今年の2月14日に、教会委員会で議論を重ねた上で、「これからの礼拝について」という指針をお出ししております。それに基づき、本日ならびに今後の礼拝について、以下のようにおこないたいと思います。

よろしく願いいたします。

1、礼拝の形式

本日まで聖餐式（一種陪餐：パンだけをいただく）とします。

来週以降はみ言葉の礼拝といたします。

※ 本日の礼拝においても、陪餐を受けるかどうかはご自分の判断でなさってください。

2、聖歌

本日より伴奏のみといたします。

3、チャント

本日より用いません。

4、その他

本日の礼拝の中で、聖歌隊とアンジェリカの奉仕があります。

陪餐は、サーバー→オルガニスト→聖歌隊の順でおこなったあと、

まず聖書台側の方々（右手に出て消毒し、パンをいただいて真ん中通路より戻る）、続いて説教壇側の方々（左手に出て消毒し、パンをいただいて真ん中通路より戻る）、最後にシオンホールの方々（司式者およびサーバーがシオンホールに行く）の順でおこないます。